

大牟田市第3次環境基本計画（案）に対する市民意見募集の結果について

1. 実施結果

(1) 意見提出件数

13人より58件の意見が提出

2. 市民意見及び市の考え方

(1) 計画に反映する意見（2件）

① イラスト・画像に関すること（2件）

No.	頁	意見の概要	市の考え方
1	2 ～	イラストや写真の画質を上げていただきたい。	可能な限り、イラストや写真の画質を上げます。なお、2頁、22頁のイラストは差し替えます。
2	41	「ワンヘルス」のイラストのリングをそれぞれが交差したリングの表示にした方が「一体的」を表したイラストになると思います。	41頁のイラストは差し替えます。

(2) 参考にする意見（56件）

① 体裁に関すること（2件）

No.	頁	意見の概要	市の考え方
1	1	なぜ世帯数に国勢調査の数字を使用したのか、説明してほしい。	国勢調査は、法令や様々な行政の施策において基準とされる統計となるものであることから、国勢調査での世帯数を用いています。
2	1 ～	和暦と西暦を両方記載するのは読みづらいので、西暦に統一してはどうでしょうか。	本計画は市民全体を対象としており、より多くの方に分かりやすくするため、西暦と和暦を併記しています。

② 前計画の振り返りに関すること（3件）

No.	頁	意見の概要	市の考え方
3	6	令和2年はコロナで景気低迷、消費縮小、生産活動も冷えていると思われるので、実績値としては参考にならないのではないかと。	評価は、基本的に令和2年度実績で行っています。なお、影響が考えられる項目は、注釈等で説明しています。
4	6	紙や缶は市の収入源になると聞いた。 紙や缶の資源化量を増やすための具体策はありますか。	本計画は基本計画であり、現段階で考えられる各主体の主な取組を第4章で示しています。

			<p>施策としては、事業所から排出される機密文書の資源化などが考えられますが、具体的には本計画に沿って年度ごとに取組を進めていくこととしています。</p>
5	7	<p>第2次計画終了時点での総括が不十分なので、具体的な総括が必要と考えます。</p>	<p>第2次環境基本計画の総括については、6、7頁で取り纏めており、それを基に今後の施策や数値目標を定めています。</p>

③ 計画の目標・構成・各主体の役割に関すること（5件）

No.	頁	意見の概要	市の考え方
6	11	<p>市の6つの基本方針が、国、県の基本方針とどう関連しているかを説明してほしい。</p>	<p>国の6つの重点戦略を支える環境政策、福岡県の環境の将来像を実現するための7つの柱、市の総合計画と整合を図って、6つの基本方針を定めました。</p>
7	12	<p>計画の対象範囲で社会環境、地球環境、自然環境、文化環境、生活環境について書いてあるが、これを実現するための具体的なことが書かれていない。実際に実行する日程等を提示してほしい。</p>	<p>本計画は基本計画であり、現段階で考えられる各主体の主な取組を第4章で示しています。</p> <p>具体的なものについては、本計画に沿って年度ごとに取組を進めていくこととしています。</p> <p>また、その成果については毎年度点検・評価し、今後の施策の推進や見直しに活用してまいります。</p>
8	16	<p>市民団体は、各々の考えを持ち、自立している。</p> <p>「市民」や「市」や「事業者」と協力したり、連携したり参加を促すことが求められすぎた表現です。</p>	<p>環境に取り組んでいる市民団体と協力することは、今までの計画でも述べており、成果が上がっていると考えています。</p> <p>本計画においても、市民団体と一緒に進めていく必要があると考えています。</p>
9	16	<p>取り組みます、推進します、と書いてあるが、一方通行的な感じで理解しがたいと思います。</p>	<p>各主体が互いに協働しながら自主的・積極的に取組を実施していくことが必要との考えから、この表現にしています。</p>
10	16	<p>4つの主体の役割が漠然としているので、具体的にどのような活動においてどのように協働したいのか、成果まで含めて記載してほしい。</p>	<p>本計画は基本計画であり、現段階で考えられる各主体の主な取組を第4章で示しています。</p> <p>具体的なものについては、本計画に沿って年度ごとに取組を進めていくこととしています。</p>

④ 施策体系と数値目標に関すること（16件）

No.	頁	意見の概要	市の考え方
11	17 ～	「脱炭素型のまちづくりを推進します」とあるが、具体的にはどうするのですか。	本計画は基本計画であり、現段階で考えられる各主体の主な取組を第4章で示しています。 施策としては、家庭向けの省エネ家電買換支援事業や、事業者向けの省エネ効果の高い機器や設備の導入支援などを考えており、具体的には本計画に沿って年度ごとに取組を進めていくこととしています。
12	17 ～	景観や文化遺産の保護、景観資源を活かしたまち並みづくり、歴史・文化的資源の保護と継承をあげているので、この立場を尊重して、大牟田市庁舎本館の保存と活用を進めてほしい。	いただいたご意見は、今後の施策の推進において、参考とさせていただきます。
13	19 20	「みちしるべ」の根拠がわからない。 17頁、18頁で基本方針と施策の柱を示しているのですが、これに合わせて「みちしるべ」をつくるべきではないか。	本計画においては、施策の柱ごとではなく、基本方針ごとに「みちしるべ」を設定させていただいています。
14	19 20	「みちしるべ」の時期が統一化されておらず、わかりにくい。 現在またはコロナ前の一定時期で統一していただきたい。	「みちしるべ」については、各基本方針に関連する各部門別計画等の目標値を採用していますので、目標年度は一律とはなっていません。 根拠等については、備考に記載させていただいています。
15	19 20	現時点での「具体的な数値目標」＝「みちしるべ」を提示することが必要である。 「みちしるべ」の設定・確認・検討には市民、特に市民団体の協力が必要だと考えるが、これについて市としてはどのような「計画」があるのかについて記載がない。説明してほしい。	本計画の「みちしるべ」については、各基本方針に関連する各部門別計画等の基準値、目標値を採用しています。 また、市民、市民団体だけではなく4つの各主体が互いに協働しながら自主的・積極的にその取組を実施していくことが必要との考えから、このような表現としています。 なお、具体的な連携内容につきましては、今後各活動団体との協働の中で決めていきたいと考えています。

16	19 20	市内企業への具体的な目標数値を付した環境対策・指示について全く記述されていない。その理由を説明していただきたい。	各「みちしるべ」の達成には、4つの各主体が互いに協働しながら自主的・積極的にその取組を実施していくことが必要と考えています。したがって、ご質問の「市内企業の目標数値」もそれぞれの企業が自主的に定めるものと位置づけています。
17	19	環境活動団体の活動内容が不明である。活動団体の団体名・代表者名・連絡先・具体的な活動内容を明示してほしい。	各団体の活動内容につきましては、市ホームページにおいて「環境活動団体を紹介します」として、紹介しています。
18	19	環境活動団体数の目標値を「20団体」としている根拠を教えてください。 また、20団体になることによって、市民と活動団体と市とのどういった連携が可能なのか、可能となる機会を市が中心となって持つのか、何をめざすのか、明らかにしてほしい。	第2次計画期間中の10年間で、環境活動団体数は、3団体増加しています。 その実績に基づき、目標値を3団体増の20団体としています。 具体的な連携内容につきましては、環境活動団体との協働による環境学習講座の実施などが考えられますが、今後各活動団体との協働の中で、定めていきたいと考えています。
19	19	家庭部門のCO ₂ 排出量の算出方法を明示してほしい。	家庭部門のCO ₂ 排出量の算定方法については、本計画の付属資料として作成する資料編に記載します。
20	19	「燃えるごみ排出量削減」の目標値が、「25,440t/年」とあるが、この根拠を教えてください。	ご指摘の目標値は、目標値「本市の燃えるごみ排出量（家庭系と事業系の合計）」を根拠としています。
21	19	「リサイクル率の向上」では、「15.9%」とあるが、資源物が最終的にどこに受け入れられ、どうなるのか、例示していただきたい。	部門別計画である「ごみ処理基本計画」の中に「ごみ処理の流れ」を記載しています。 資源物は、民間事業者に引き渡しをして、資源化を行っています。
22	19	6ページの「一般廃棄物の資源化量」の後退は、民間事業者回収の影響とのことですが、P.19「リサイクル率の向上」は、その影響を考慮したものでしょうか。	「リサイクル率の向上」は、民間事業者の回収率を加味した数値ではありません。 現在の「ごみ処理基本計画」の目標値を記載しています。
23	19	「燃えるごみ」にリサイクルできるものが、多くあるように思える。 徹底的な分別が求められると思う。 分別せずに出してしまうことに対して、どのような対策を考えているのか。	ご指摘のとおり、現在の「燃えるごみ」には、まだリサイクルできるものが、多く含まれていますので、今後も分別等によるごみの減量対策は必要と考えています。 いただいたご意見は、今後の施策の推進において、参考とさせていただきます。

24	20	「景観や文化遺産等の未来への継承」について、「世界遺産価値の理解度」のみが対象のような表現と思われる。他にないのか。	ご指摘の「みちしるべ」については、本市の代表的な景観であります「世界遺産」への理解度を目標値として設定しました。
25	20	水洗化・生活雑排水処理率が大きく改善されるのは人口減少で分母が小さくなることによるところが大きいのか。 汚水処理人口普及率も大きく改善され、国、福岡県の平均に近づくのか。	水洗化・生活雑排水処理率及び汚水処理人口普及率の算出においては、人口減少の場合、分母だけではなく分子も小さくなります。 処理率や普及率の改善については、下水道や浄化槽の普及促進によるものと考えています。 また、今後の取組によって、国、福岡県の平均値に近づいていくものと考えています。
26	21	第3次計画とSDGsとの関係について、SDGsの17の目標のうち、まずは「貧困をなくそう」を大牟田市でどのくらい実現しようとする気持ちがあるのかわからない。	21頁には、SDGsの17の目標を全て示しています。 なお、本計画の第4章には、17の目標のうち事業と関連がある目標を記載しています。

⑤ 施策の展開に関すること（30件）

No.	頁	意見の概要	市の考え方
27	18	「(2) 海岸環境の保全に取り組みます」 有明海が死の海になろうとしているのに対し、その対策もなく環境保全ができるのか。 対策の一つとして、はたき海苔の亜臨界水処理による分解を提案します。 処理物は、有機肥料として利用できます。	本計画は基本計画であり、現段階で考えられる各主体の主な取組を第4章で示しています。 具体的なものについては、本計画に沿って年度ごとに取組を進めていくこととしています。 いただいたご意見は、今後の施策の推進において、参考とさせていただきます。
28	21	市として無農薬栽培を広め、農家と契約して、小・中学校の給食用とし、残ったものは、「子供食堂」なり提供して、食品ロスをなくすること等を考えてほしい。	ご指摘のありました「食品ロスの削減」は、大変重要な課題と認識しています。 いただいたご意見は、今後の施策の推進において、参考とさせていただきます。
29	27	「大牟田エコタウンプラン」が策定されて25年が経過しているが、この間の実績を明記すべきではないのか。	ご指摘いただいた実績等は、計画には記載していませんが、本市のホームページ等で情報発信に努めてまいります。

30	29	次世代エネルギーパークの認定を受けたのは、13、14年も前の「成果」です。 その間の具体的な効果や成果、またその後の具体的な計画などを紹介してほしい。	
31	27	市は「循環産業の創出・育成につながるよう支援する」とのことですが、具体案を示してほしい。	本計画は基本計画であり、現段階で考えられる各主体の主な取組を第4章で示しています。 具体的なものについては、本計画に沿って年度ごとに取組を進めていくこととしています。
32	28	「本市では、環境学習講座開催やこどもエコクラブ活動支援、～を行ってきました。」とあるが、環境学習講座が開催されているのを知らなかった。実績を教えてください。	本市のホームページに「おおむたの環境」を掲載しています。 その中で、環境学習講座の実績も記載しております。
33	29	「バイオマス発電、太陽光発電などの多くのエネルギーに関する施設が集積されており、(以下省略)」と記載しているが、市がどれだけ太陽光発電設備を所有しているか多くの市民は知らない。 バイオマス発電も含め、周知していただきたい。	いただいたご意見は、重要なご指摘だと考えています。 実績等は、計画には記載していませんが、今後、本市のホームページ等で情報発信に努めてまいります。
34	29	「市が公共施設への太陽光発電など再生エネルギーの導入を進めます」とあるが、具体的に公共施設と今後の導入プランを教えてください。	本計画は基本計画であり、現段階で考えられる各主体の主な取組を第4章で示しています。 具体的なものについては、本計画に沿って年度ごとに取組を進めていくこととしています。 今後、再生可能エネルギーの導入について検討してまいります。
35	29	「再生可能エネルギーの導入」に利用できる大牟田市の「地域特性」とはなにか。	本市は、年間の日照時間が全国平均値(1,915.9時間)よりも約150時間長くなっています。 日照時間の長さが、地域特性と考えられます。
36	29	市民等が利用できる太陽光発電以外の再生可能エネルギーを教えてください。	太陽光発電以外の再生可能エネルギーは、太陽熱や地中熱利用、木質バイオマス等が考えられます。

37	29	<p>施策と各団体の主な取組には、いずれも「太陽光発電など再生可能エネルギーの理解や導入」と同じ文言である。生ごみの資源化モデルなどの計画はないのか。</p>	<p>ごみ処理については、ごみ処理基本計画に沿って、取組を検討していくことにしています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の施策の推進において、参考とさせていただきます。</p>
38	29 ～	<p>市は、「公共施設への再生可能エネルギーの導入を進めます」とあるが、ごみ処理についてはストーカ炉式焼却炉を推し進めている。</p> <p>環境基本計画・地球温暖化対策実行計画に適用される方向になっているのか？</p> <p>もし、無い場合は計画に入れるべきである。</p>	<p>新たなごみ処理施設の建設に関する事務は、大牟田市及び荒尾市で構成する一部事務組合である「大牟田・荒尾清掃施設組合」で行われています。</p> <p>組合においては、一般廃棄物処理施設整備検討委員会を設置され、この委員会からの答申をもとに策定した「一般廃棄物処理施設整備基本計画」に基づき、事業を進められています。</p>
39		<p>「脱炭素型のまちづくりを推進します」の取組で、市が予定しているごみ処理施設から排出されるCO₂の抑制・防止について記述がない。市の項目に加えていただきたい。</p>	
40		<p>RDF方式でのごみ処理について、総括していただきたい。</p>	
41		<p>RDF方式からストーカ方式に変更する理由を明らかにする必要がある。</p>	
42		<p>CO₂排出量の削減を目指し、安全と環境に優しい生活を守る為に、亜臨界水処理でごみを分解し処理をする、亜臨界水処理装置を検討すべきではないか。</p>	
43		<p>新ごみ処理施設のCO₂排出量も含め、市の管理すべき対象物の排出CO₂（およびその他の有毒ガス・有毒物質）を明示的に説明していただきたい。</p>	
44		36	
45	36	<p>「生ごみの減量を進めます」とあるが、計画されている具体的な施策を書いてほしい。</p>	

46	36 37	ごみ減量化について、具体的な行政の取組を明示していただきたい。	
47	37	「コンポストなどごみの資源化・減量化に取り組めます」とあるが、以前から取り組んでいるはずである。これまでの間に、どれくらい広がったのだろうか。減量化に資するほどのコンポスト拡大の新たな取組が準備されているのか。	
48	37	「コンポストなどごみの資源化・減量化に取り組めます」とあるが、畑や花壇を所有していない市民は、コンポスト処理物をどうすればよいか説明していただきたい。	
49	37	事業系の野菜くずを行政として集めて資源化し、燃えるごみの減量化を図ることを検討できないか。	
50	39	ごみのこと、環境のこと、SDGs について、教育の中で、中学生が主体となって意見交換や活動できる場はありますか。	<p>本市教育委員会では、市立学校（小・中・特別支援学校）が一斉にユネスコスクールに加盟するとともに、SDG s の達成に向けて、持続可能な社会の創り手を育成するために「未来を創る ESD（持続可能な開発のための教育）推進事業」を進めています。</p> <p>中学校では、校区内清掃に取り組み、地域の中で環境活動や環境学習を実施しています。</p> <p>また、市立甘木中学校では、捨てられるはずの廃棄物に、デザインやアイデアなどの付加価値を付けて再生する「アップサイクルプロジェクト」に取り組んでいます。</p>
51	45	小浜、浜田町付近で、夏場の夜に網戸にして北風のとき、新開町方面から化学的な匂いがする。	情報が寄せられた場合は、確認し、対応させていただきます。

52	46	<p>公共交通の利用を推奨されているが、バスなどの路線や本数が段々減っている。</p> <p>せめて1時間に2本以上を求め、西鉄が受けてくれないなら市独自で運行するしかないのではないか。予算はどうか国からでも検討してほしい。</p>	<p>本市の公共交通を取り巻く環境は、人口減少やコロナ禍の影響による利用者の減少等により、大きく変化しています。</p> <p>そのような中、市民や交通事業者、行政の協働連携により、誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通サービス体型の構築を目指した「地域公共交通計画」の策定を進めています。</p> <p>いただいたご意見は、計画の推進に当たり必要な施策を行う中で、参考とさせていただきます。</p>
53	46 47 50	<p>宗像市・山口大学院・石けんメーカーの共同実験で、無添加石けん有効性が判明しており、水質汚染の解消の1つとして、無添加石けんの使用による利点を情報共有できないか。</p> <p>例) 無添加石けん学習、小学校の無添加・液体用無添加石けん使用など</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策の推進において、参考とさせていただきます。</p>
54	49	<p>水源となる山の栄養分は、残していけるように整備して欲しい。また、必要以上の除草剤、農薬の使用を控えてほしい。</p>	
55	50	<p>上下水道の民営化には断固反対する。</p> <p>必要なライフラインは公営でお願いしたい。</p> <p>また、下水道事業計画区域は今の計画区域より広がる予定はあるのか。</p>	<p>現在、下水道事業計画区域、及び全体計画区域の見直しを検討中です。</p> <p>いただいたご意見は、今後の施策の推進において、参考とさせていただきます。</p>
56	—	<p>【「筑後七国」構想】という、大木町・みやま市・柳川市・大川市・筑後市・八女市・広川町の大牟田市を除く久留米以南の7市町からなる広域と一緒に、生ごみ・し尿・浄化槽汚泥の循環利用に取り組み、現在ではごみの資源化やリサイクルへと進んでいる。</p> <p>大牟田市はRDF処理施設終了後の代替として、この広域連合に加わる途を考えてはいるのか。</p>	<p>【「筑後七国」構想】、は各市町が個別に所有しているごみ処理施設などの公共施設が、人口減によって過剰になっていることから近隣市町で共有することによって経費を減らす構想であると理解しています。</p> <p>柳川市とみやま市では、令和4年3月にごみ処理施設の供用を開始されています。</p> <p>また、本市は、荒尾市とごみ処理施設に関して、すでに広域化を行っています。</p>